

13016 社会心理学 a、b Social Psychology			2 年次～ 通年 4 単位
担当者	小谷野 邦子	履修可能学科	E Pe Pc C
		関 連 資 格	教職(C)
サブタイトル	私たちの社会的「現実感」の裏をさぐる		
授業内容 ・ ねらい	個人と集団・社会の関係を、いろいろな実験・調査や事例をもとに考えます。その際、特に歴史と文化に留意しながら、私たちが「本当（真実）」「あたりまえ」「そういうものだ」と思っている現実感を問い直してみたいと思います。そこから私たちをとりまいている社会や「私自身」についても考えていきましょう。できるだけ受講生が主体的に参加できるかたちをとりたいと思っています。		
授業計画	1. 全体オリエンテーション 2. 人間の社会性 3. “私たちのなかの社会” 4. “社会の中の私たち” 5. 社会的統制と社会化 6. 社会通念の力（2 回） 8. 今までの授業の復習と確認 9. 権威への服従（2 回） 11. 集団の力と同調性（2 回） 13. “仲間”の効果 14. 集団標準 15. 前期のまとめ 16. 後期のオリエンテーション 17. 夏休み課題図書についてのグループ討論 18. 担当箇所のグループ学習；要約と課題設定 19. 担当箇所に関する資料検索・調査活動 20. 担当箇所の報告・方法準備 21. 社会的現実（リアリティ）とは 22. 社会的現実の制度的基盤 23. 社会的ステレオタイプ・「常識」と自己成就予言 24. マイノリティの力（ビデオ鑑賞） 25. 同調と逸脱のダイナミズム 26. マスメディアの影響 27. 社会的現実についてまとめ 28. 会話・呼称にみる日本人の人間関係 29. 準拠集団としての「世間」 30. 全体のまとめ		
教科書 参考書	参考書についてはその都度紹介します。 夏休課題図書：池田謙一著『社会のイメージの心理学』（サイエンス社）		
評価方法	年間大小のレポートや感想文等、5、6 回の提出物と授業への参加態度（グループ活動・発表）など総合的に評価します。		
事前準備学習 履 修 条 件 等			